

ロタウイルス予防接種説明書

＜ロタウイルス感染症の予防＞

ロタウイルス感染症とは？

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、乳幼児期（0～6歳ごろ）にかかりやすい病気です。主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐（おうと）、発熱、腹痛です。ふつう、5歳までにはほぼすべての子どもがロタウイルスに感染するといわれています。脱水症状がひどくなる入院治療が必要になることがあります。5歳までの急性胃腸炎の入院患者のうち、40～50%前後はロタウイルスが原因です。

ロタウイルスについて

ワクチン接種で重症胃腸炎を減らすことができます

ワクチンを接種することにより、ロタウイルス胃腸炎による入院患者を約70～90%減らすことができたと報告されています。

2種類のワクチンがあります

ワクチンは2種類あり、同様の効果があります。2回接種を受けるものと3回接種をうけるものがあります。**同じワクチンで、決められた回数の接種をしましょう。**

ロタテック = 「5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン」（5価）・3回接種

ロタリックス = 「経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン」（1価）・2回接種

竹富町では、特段の理由がある場合を除き、基本的にはロタリックスにて実施しております。

里帰り先等で接種される際も、ロタリックスワクチンを接種して頂きますようご協力ください。

※里帰り先の医療機関でロタリックスの取り扱いが無いなど、ロタテックを接種し、竹富町でもロタテックの接種を希望される場合には竹富町役場健康づくり課までご連絡ください。

接種方法について

生後14週6日までに初回の接種を受けましょう

対象年齢：接種時に竹富町の住民で、初回接種時点で生後14週6日までの児

（標準接種期間：生後2か月から）

初回の接種を生後15週以降に受けることは原則としてできません。

2回目以降の接種は27日以上の間隔をあけて、生後24週（約5か月半）までに接種します。

接種方法：経口接種 吐き出した場合でも、追加の投与は必要ないとされています。少量でも飲み込んでいれば一定の効果はあることや、2回または3回の複数回接種をすることとなっており、一連の接種で効果が期待できることなどから、吐き出した場合でも1回の接種とと考えてください。

注) 母子手帳の予防接種スケジュールを参考に、接種スケジュールを立てましょう。

副反応について 接種後1～2週間は「腸重積症」に注意しましょう！

腸重積は、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気です。腸の血流が悪くなることで腸の組織に障害を起こすことがあるため、速やかな治療が必要です。ワクチン接種から1～2週間くらいまでの間には、腸重積症のリスクが通常より高まると報告されています。

腸重積症の症状としては以下のものがあります。

- 突然はげしく泣く
- 機嫌が良かったり不機嫌になったりをくり返す
- 嘔吐する
- 血便が出る
- ぐったりして顔色が悪い など

接種後にこれらの症状がひとつでも見られた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。腸重積症はロタウイルスワクチンの接種にかかわらず、乳幼児がり患することのある疾患で、まれな病気ではありません。